

1) 成績評価

各学期（4～9月、10～3月）終了時に各レベルごとに評価を行います。

〔評価対象〕： 文法、表記、聴解、読解、会話、作文、演習

〔評価基準〕：＜最終成績で一科目でもF（不合格）があれば卒業できません＞

※S…【92～100】 科目の履修をきわめて高い程度で達成したもの

A…【84～92 未満】 科目の履修を高い程度で達成したもの

B…【76～84 未満】 科目の履修を中程度以上で達成したもの

C…【68～76 未満】 科目の履修を中程度で達成したもの

D…【60～68 未満】 科目の履修を中程度以下ではあるが、おおむね達成したもの

F…【60 未満】 不合格 科目の履修に必要な条件を満たさなかったもの

〔評価方法〕

文法、表記、聴解、読解については達成度試験の結果によって評価を行います。

会話は達成度試験及びスピーチ、作文は毎回の提出物によって、また演習は平常点（宿題等の提出や教室内での学習態度等）によって評価を行います。

2) 進級・継続

各学期（4～9月、10～3月）終了時に判定します。

判定基準を満たさなかった場合、原則として継続ができません。

- ＜判定基準＞ ・出席率が70%以上あること。 （6ヶ月間の出席率で判定をします。）
・すべての達成度試験及び進級試験を受験していること。
・成績にF（不合格）が無いこと。

3) 卒業認定

判定会議において、卒業判定を行います。

- ＜判定基準＞ ・出席率が在学通算で80%以上あること。
・各学期での出席率が70%以上であること。
・達成度試験をすべて受験していること。
・最終成績にF（不合格）がないこと。

＊客観的な成績評価について

各学期毎の成績判定に伴い、学生の成績評価を数値化し、各レベル内での達成度を判断します。
数値化の基準は以下の通りです。

※S…【92～100】	=5
A…【84～92 未満】	=4
B…【76～84 未満】	=3
C…【68～76 未満】	=2
D…【60～68 未満】	=1

達成度の状況を基本に、次学期の学習面について相談を行う場合があります。